

春

2024

広報誌
第1号

せいふう

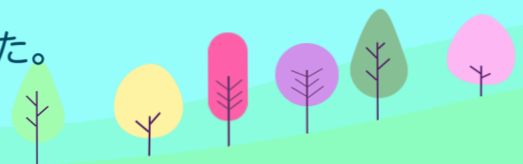
のなかとうこうかい
一般財団法人 野中東睦会
静風荘病院

地域にやすらぎの風を

リニューアル
しました

静風荘病院の屋上から見た風景

- 広報誌リニューアル記念 特別対談 / 木野博至理事長・原彰男院長
「地域医療機関として、幅広い医療ニーズに応える。」
- 健康カフェ / 「皮膚科を開設しました」
- 訪問看護ステーション ひまわり は10周年を迎えました。
- 医療相談室からのお知らせ



木野 博至 × 原 彰男

地域医療機関として、幅広い医療ニーズに応える。

歴史と伝統が育む静風荘病院の特徴

木野 静風荘病院は一九三七年に練馬区で富士見ヶ丘静風荘診療所として開設されたのが始まりです。当時は結核療養所としての役割を担っていました。その後一九八五年に新座市に移転し、総合内科病院として現在に至っています。

静風荘病院の特徴は、永らく結核療養所であったため、長期間の入院が必要な患者さんのための適切な治療や手厚い看護ケアの伝統をもってのことです。原院長は昨年、院長に赴任し、約1年が経ちますが、どんな印象をお持ちでしょうか？

原 静風荘病院の歴史と伝統をひしひしと感じながら、地域医療に果たす静風荘病院の重要性を改めて認識しています。

私は以前、急性期病院にいましたので、静風荘病院の重要性がよく分かります。急性期病院では、早期の治療が終わり一定の回復をしますと、患者さんは退院または回復期・慢性期の病院に転院します。その受け皿となるのが当病院のような障害者病棟を専門にもっている病院です。その意味でも、地域医療全体のなかで重要な役割を担っていると思います。

木野 そうですね。静風荘病院の伝統が障害者病棟を有する、地域でも数少ない病院につながっているわけです。



院長
原 彰男

慶應義塾大学医学部卒業
慶應義塾大学医学部外科教室
国立東京第2病院
(現 国立病院機構東京医療センター)
慶應義塾大学病院 外科 大腸班
国立病院機構埼玉病院 副院長
国立病院機構埼玉病院 院長
慶應義塾大学医学部外科教室
客員教授

2023年4月より 静風荘病院
院長

理事長
木野 博至

東京大学医学部卒業
国立療養所東京病院
(現 国立病院機構東京病院)
米国ニューヨーク市アルバート
アインスタイン医学校
三井記念病院 呼吸器内科部長
同 中央検査部 (現臨床検査科)・
緩和ケア科・感染制御部・医師
支援部部長 (併任)
静風荘病院 院長

2023年4月より 静風荘病院
理事長

人権と尊厳を大切にする理念

木野 障害者病棟には、寝たきりの方やお身体が不自由になった方、重度の障害や意識障害などの後遺症のある方など、治療やケアの必要性の高い患者さんが入院しています。そうした患者さんに安心・安全な生活の場を提供することが、当病院の第一の使命だと思っています。

原 木野理事長がおっしゃる通り、静風荘病院には患者さんに対して、人権・尊厳を大切にしている伝統が根付いていますね。この伝統を継続し、患者さんの立場に立った、あたたかく心のこもったサービスを提供し、思いやりをもって日々患者さんやご家族に接することが大切だと、私も思っています。

地域医療全体の質を高めるために

木野 地域での役割では、原院長も先ほども言いましたように、急性期病院などから、長期入院が必要な患者さんを受け入れていく役割があります。他の病院ではできないことを補完することで、地域医療全体の質を高めていくことでしょうか。

原 もう一つが外来病院としての役割ですね。

木野 そうですね。現在、総合内科をはじめとして、内科疾患を中心に幅広い診療にあたっています。今年から皮膚科を新設しました。

健康

CAFE

皮膚科のご案内

2024年1月
皮膚科を開設しました。 吉村 智子^{医師}

皮膚に関する様々な相談に対応します

当科では、豊富な臨床経験と深い知識を有する皮膚科専門医が診療を行います。

お気軽にご相談頂ける皮膚科を目指し、地域の皆様に安心して通っていただけるよう、わかりやすい説明を心がけています。お薬の塗り方から症状改善後の予防まで、生活に寄り添った治療をご提案します。



主な症例

湿疹、アトピー性皮膚炎、尋常性ざそう（ニキビ）、尋常性乾癬、皮脂欠乏性湿疹、伝染性膿痂疹（とびひ）、足白癬、足爪白癬（水虫）、オムツかぶれ、水いぼ など

皮膚科は予約制です

診療日は毎週木曜午後のみとなっております。当院の皮膚科は予約制となっておりますので、事前に受診をご予約ください。

（中学生以上の患者さまを診察します）

「皮膚科の予約」と
お申し付けください。

☎ 048-477-7300 (代表)

(平日) 9:00 ~ 16:30

※土曜12時まで

原 外来診療とともに、地域の会社や住民の方への健診も積極的に実施していますね。高齢化が進むなかで成人病や高血圧、糖尿病などが増えていますので、健診による早期発見につなげていければいいですね。

木野 当病院の医師はベテランの方が多く、それぞれの専門領域で豊富な経験を重ねた医師ばかりですよ。女性内科といった女性の方に特化した診療も行っています。

原 木野理事長がおっしゃるように、静風荘病院は、医師や看護師などスタッフ体制は充実していますね。急性期病院でやっていた医療の質を維持することで、安心して医療生活の提供につなげていきたいですね。

時代の医療ニーズに応える病院へ

木野 静風荘病院は歴史と伝統のある、しっかりとした理念をもった病院です。しかしその一方で、地域での役割を担っていくためには、つねにアップデートしていく必要があります。地域の役割を果たす持続可能な病院として何をすべきか、それが課題でしょうか。

原 その一つとして取り組んでいるのが「DX化」や「働き方改革」です。無駄な仕事をデジタル化することで、働き方も含めスマートな病院にしていきたいこと。受け継がれてきた伝統や理念、使命を重んじながら、アップデートしていきたいですね。

木野 もちろん、一朝一夕にできることではありませんが、いきなり高いところを目指すのではなく、身の丈に合った前進、改革を進めていけたらいいですね。

原 そのためにも、医師、看護師、職員の方々が、「今、何をやるべきか」の情報を共有し、同じ目的に向かって、一体となって取り組んでいきたいですね。

*急性期病院…緊急・重度な状態にある患者さんに対して、高度で専門的な治療を提供する病院。
*障害者病棟…長期間にわたって集中的な医療を必要とする患者さんのためのトータルケアを行う病棟。

訪問看護

長期ご利用者様から
お手紙を頂きました。

私は令和二年の三月より、ケアマネの紹介にて利用させて頂いて貰っています。当初患っていた褥瘡も適切な看護のお陰で早目に完治しました。本当にありがとうございます。現在週二回のデイサービス、週一回の散策、週二回の訪問看護、リハビリとそれなりに忙しく過ごしております。

ひまわりさんには体のケア、治療補助に親身に接していただき感謝しております。今後は散策の回数、距離の延長を目指していきたいと思っています。

訪問看護ステーションひまわりは、静風荘病院の新たな試みとして2013年にスタートし、おかげさまで10年を迎えることができました。

スタッフ3名から始まり、現在、看護師6名・リハビリスタッフ6名・事務員1名となりました。経験豊富な心強いスタッフで充実した体制となっています。子育て世代が多く、家族を大切にしながら仕事にも積極的に取り組んでいます。

利用者様の体調に合わせ、看護とリハビリを調整・連携しながら在宅生活維持に日々尽力しています。

ひまわりの種がこぼれ、来る年に花を咲かせるように、終了したお宅からの再依頼や口コミの依頼に紡がれていく喜びを感じます。

高齢化社会が加速する昨今、例え短期間でも訪問看護があれば自宅に戻れるチャンスがあります。その実現のための一助になればと思います。



訪問看護ステーション
ひまわり

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内1-2-22

☎ 048-485-9490

(平日) 9:00~17:15 *土曜12時半まで

病院と連携した看護とリハビリテーション

医療相談室

患者様やその家族の方々が生活する中で、家庭の事情に関わることや経済的問題など、さまざまな悩みごとのご相談をお受けします。必要な支援制度や行政手続きの仕方などをご紹介させていただいています。皆様がより安心して入院生活、在宅療養、通院継続できるように支援、サポートさせていただきます。



不安な事は
お気軽に
ご相談ください



専任の医療ソーシャルワーカー2人が
ご相談をお受けしております。

1階医療相談室まで
遠慮なくお気軽にご相談ください。

当院は、社会福祉事業の認定を受けておりますので、経済的理由で治療費の支払いが困難な方については事情をお聞きした上で自己負担分の減額または免除のご相談をお受けしています。